

私立 千葉商科大学附属高等学校 シラバス

公民科「倫理（3年普通科総合進学商大・総合型コース）」	単位数	2単位	学科	普通科
	学年	3	組	D～F

1 学習の目標、評価の観点、内容及び評価方法

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識・技能) ・自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。(思考・判断・表現) ・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。(主体的に学習に取り組む態度)
-------	--

育成する資質能力	「社会貢献」「思考力」「判断力」「創造性」
学校ルーブリック項目	「向上心」「自律」「自己肯定感」「友愛」「創造性」「社会貢献」「思考力」「判断力」「表現力」「人間関係力」

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解しているか。 ・諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の倫理的諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や現代社会の基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力がついているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けているか。 ・振り返りなどを通して、主体的に学習に取り組む姿勢を身に付けているか。
評価方法	定期考査など	定期考査など	活動の様子の観察、振り返り、提出物、課題など
配分	80%	10%	10%

2 学習計画・使用教材

学期	学習内容	学習のねらい	備考（特記事項、他教科との関連など）
第1学期	第2章 人間としてのあり方生き方 第1節 ギリシア思想 1 ギリシア思想の誕生 2 ソフィストたちとソクラテス 3 プラトン 4 アリストテレス 5 ギリシア思想の展開	○哲学対話 導入として哲学対話に取り組み、概念の言語化を通して、自己理解や他者理解の重要性や対立を乗り越える共通理解について考えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・哲学対話やミニレポートなどを通して、自分の見方・考え方を述べる機会を作る。 中間考査

	<p>第2節 キリスト教</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 古代ユダヤ教 2 イエス 3 キリスト教の誕生と展開 <p>第3節 イスラーム</p> <p>第4節 仏教</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 仏教以前のインド思想 2 ブッダの教え 3 大乘仏教の成立とその教え 	<p>○ギリシア思想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代ギリシアに哲学者ソクラテスがあらわれ、問答法を用いて無知の知を説いたことを理解する。また、その弟子プラトンについても理解します。 <p>○キリスト教</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリスト教が人間をどのようにとらえ、どのように生きることをさし示しているか、イエスの言行を手掛かりに学び、相互扶助など共同体のあり方について考えます。 <p>○イスラーム</p> <p>さまざまな社会生活にかかわるイスラームの特色や宗教的義務を、六信五行やクルアーンを手掛かりに学びます。</p> <p>○仏教</p> <p>仏教徒その他の宗教との違いを理解し、縁起の法や慈悲を手掛かりに、その人間観や人生観を理解します。</p>	<p>期末考査</p>
<p>第2学期</p>	<p>第2章 人間としてのあり方生き方</p> <p>第5節 中国思想</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「道」の自覚—孔子 2 儒家思想の展開 3 老荘思想 <p>第5章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理</p> <p>第1節 生命の倫理</p> <p>第2節 環境の倫理</p> <p>第3節 科学技術の倫理</p> <p>第6章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理</p> <p>第1節 福祉の課題</p> <p>第2節 文化と宗教の課題</p> <p>第3節 平和の課題</p>	<p>○導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・哲学対話 <p>導入として哲学対話に取り組み、概念の言語化を通して、自己理解や他者理解の重要性や対立を乗り越える共通理解について考えます。</p> <p>○中国思想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孔子の教えを通して人間社会の理想的な姿について考えます。 <p>○生命の倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命をめぐる倫理的諸課題について学ぶ。特に代理出産や臓器移植、ゲノム編集など生命をめぐる問題について考察します。 <p>○環境の倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題を解決するために、様々な思想家の考えを通して、どのような倫理的な考え方・態度が求められているのか考えます。 <p>○科学技術の倫理 ・科学技術の発達に対して、倫理はどのように追いつき対応すればいいのかについて考えます。</p>	<p>・哲学対話やミニレポートなどを通して、自分の見方・考え方を述べる機会を作る。</p> <p>中間考査</p>

		○社会と文化にかかわる諸課題と倫理・福祉，文化と宗教，平和などについて倫理的課題を見出し，その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりに考えます。	期末考査
第3学期	なし	なし	なし

使用教科書	実教出版『詳述倫理』
副教材	なし

3 担当者からのメッセージ

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	・「倫理」で扱う内容は,机上の理論だけではなく,また教科書の暗記で済むものでもありません。自分自身が,かけがえのない人生の主演であることを理解し,一つ一つのテーマに対して,正面から取り組む姿勢を持ってください。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や授業プリントを忘れずに持参し, 授業に臨んで下さい。 ・授業は集中して受けて下さい。 ・積極的な発言は大歓迎ですが, 授業の妨害となるような発言は厳禁です。 ・授業で理解できなかったことをそのままにせず, 質問をするなど理解に努めて下さい。 ・提出物は期限を守って, きちんと提出して下さい。
その他のアドバイス	現代社会が抱える課題は多様になってきています。「格差問題」「尊厳死と安楽死」「環境問題」など, どれも倫理的な対立が内包されています。それらについて, なぜそういった問題が起こっているのかの根拠を, 対話などを通して, 倫理的な側面から理解していきます